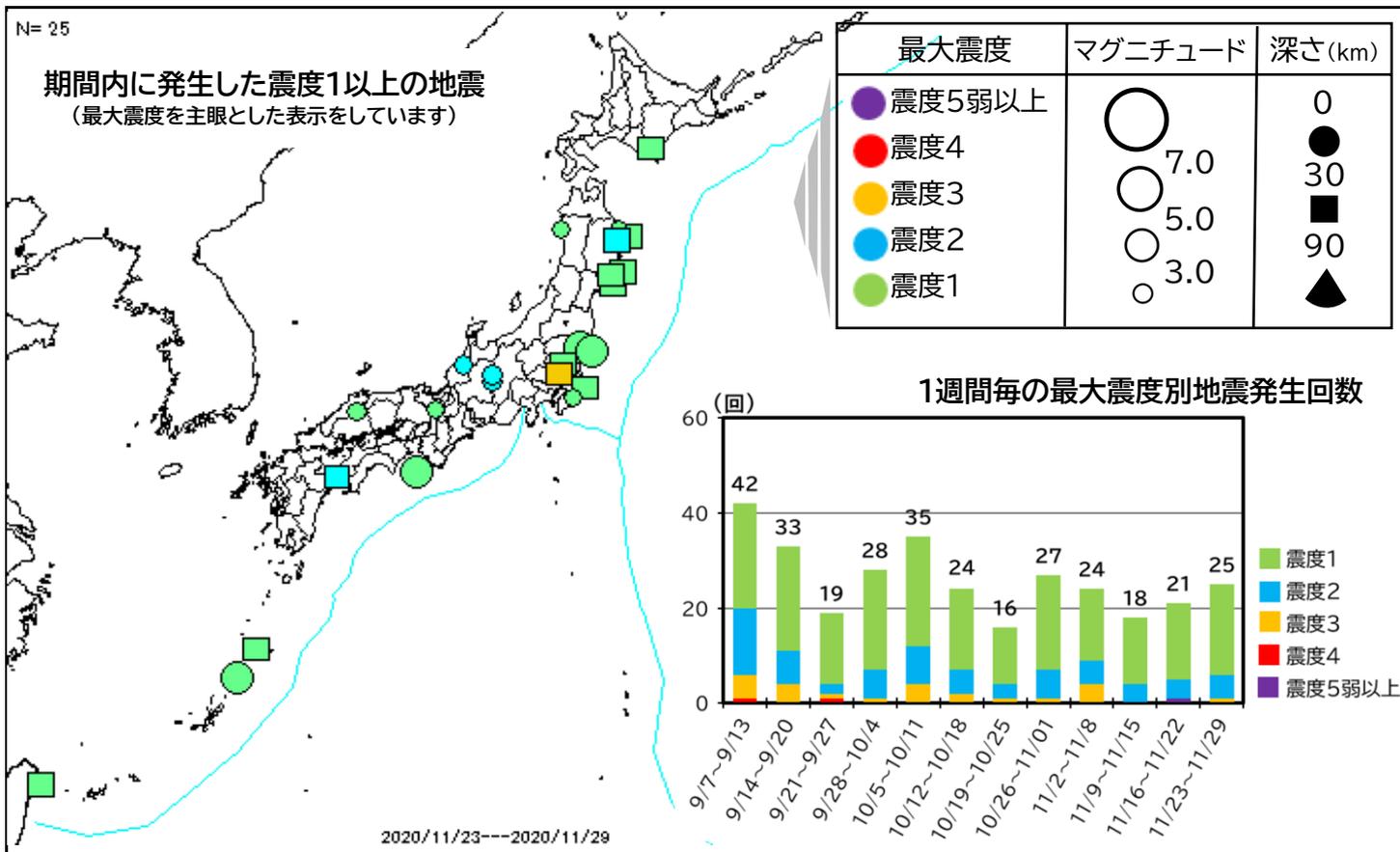


この期間の最大震度は3

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



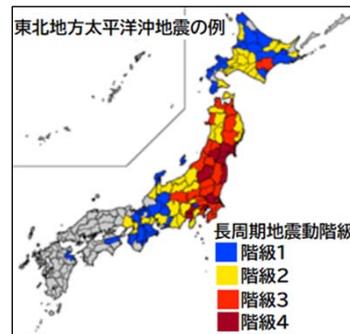
主な地震の発生状況

- この期間、震度1以上の地震が25回発生。最大震度は3
- 25日11時20分に茨城県南部で発生した地震(M4.3、深さ 44km)により、茨城県、栃木県、埼玉県及び千葉県で震度3を観測。この地震はフィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した逆断層型。この付近は、活動が活発な領域で、M5程度の地震がしばしば発生している。

トピックス

長周期地震動

- 地震が起きると震源では様々な周期の揺れが発生し、私たちは周期の短い揺れは「ガタガタ」、周期の長い揺れは「ユッサユッサ」と揺れを感じます。
- このうち、長周期の長い地震動(長周期地震動)は、ときとして高層ビルなどに厄介な被害を発生させます。
- 高層ビルは長周期の揺れによって、低い建物と比べると長時間にわたり大きく揺れ、かつ、高層階の方がより大きく揺れる傾向があります。
- その結果、室内の家具や什器が転倒・移動したり、エレベーターが故障することがあります。
- 長周期地震動による代表的な被害例として、東北地方太平洋沖地震(M9.0)があります。この地震では、震源から約700 km離れた大阪市(最大震度3)の高層ビルでエレベーター停止による閉じ込め事故、内装材や防火扉が破損するなどの被害が発生しました。
- これらのことから、気象庁は「震度」とは別に、高層ビル高層階の揺れの程度を表現することを目的とした「長周期地震動に関する情報」を発表しています。
- 長周期地震動に関する情報では、地震時の人の行動の困難さの程度や、家具や什器の移動・転倒などの被害の程度を基に揺れの大きさを4つの階級に区分(右図)して発表しています。



<p>階級1</p> <ul style="list-style-type: none"> 室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。 ブラインドなど吊り下げものが大きく揺れる。 	<p>階級2</p> <ul style="list-style-type: none"> 室内で大きな揺れを感じ、物につかまらなさと感じる。物につかまらなさと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。 キャスター付きの家具類等がわずかに動く。棚にある食器類、書籍の本が落ちることがある。
<p>階級3</p> <ul style="list-style-type: none"> 立っていることが困難になる。 キャスター付きの家具類等が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。 	<p>階級4</p> <ul style="list-style-type: none"> 立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。 キャスター付きの家具類等が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。